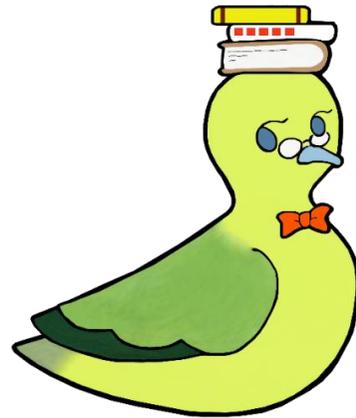


たるばとプロジェクト

小樽市子どもの読書活動推進計画
市立小樽図書館子ども読書事業

令和元年度実績報告及び令和2年度取組案



市立小樽図書館

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和元年度実績	令和元年度自己評価	令和2年度取組案
1 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供					
本との出会いを生み出す	小樽市ブックスタート事業	小樽市ブックスタート協議会の構成員として、保健所で実施する乳幼児健診時に絵本の贈呈や紹介などを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・10か月検診時（月2回程度）に実施した。 ・絵本を2冊ずつを478世帯に贈呈して、読み聞かせの実施、おすすめ本の紹介、読み聞かせの仕方についての案内等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせに慣れていない家族も多い中、読み聞かせの体験をしてもらうことで、家庭での読み聞かせのきっかけを作ることができた。 ・乳幼児の読み聞かせイベントである「たるびよタイム」の参加に繋げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート時におすすめの本をわかりやすく整備するなど、<u>図書館の赤ちゃんえほんコーナー</u>を充実させる。
	たるびよタイム	乳幼児と保護者を対象に、読み聞かせや手遊びを取り入れたおはなし会や乳幼児向けの絵本の紹介を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・整理休館日以外の毎週金曜日（11時～11時30分）に開催し、1回当たり平均10組ほどの参加があった。全36回、計487人参加。 ・毎回テーマを決め、テーマに関連させた選書をする事で、本と本の間に繋がりを持たせて紹介できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週同じ時間に開催を続けることで常連ができています。 ・毎回新規の参加もあり、常連と新規のバランスが良い。 ・対象世代の図書館利用促進に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>幼保（就学前の子ども）を対象とした個人セット貸し出しを</u>試行する。（11月頃予定）
	たるばとクラブ	季節や行事に合わせて、幼保や小学生を中心とした子ども向けのイベントを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1・3土曜日（午後2時～3時）に月2回、毎回テーマを決めて開催した。全23回、363人参加。 ・おはなし会や工作会などを行い、毎回平均10人ほどの参加があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアと連携したおはなし会や寄席体験の他、博物館との自然観察など他機関と連携して実施することができた。 ・イースターエッグ探しやハロウィンの仮装参加など参加型の内容を行うことができた。 ・内容によって参加人数にバラつきがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布先を増やすなど、広報を充実させ、より多くの参加となるよう毎回の内容を工夫する。
	おはなし会	学校/幼稚園/保育所/町内会等からの依頼により、図書館内外の様々な場所で、読み聞かせを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園2件で利用があり、30分～1時間程度のおはなし会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーターが多く、各回好評であった。 ・視聴覚資料を貸し出せることを伝えられる機会にもなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同様に各機関からの依頼に応じて、各機関の対象者層に応じて内容を更に充実させ実施する。

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和元年度実績	令和元年度自己評価	令和2年度取組案
本を楽しむ場の提供	子どもシアター劇場	年に2回程度、子ども向けの長編アニメ映画を上映する。	・9/16「映画ドラえもののび太とアニマル惑星」16人参加 *中止3/1「チャーリーとチョコレート工場」(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)	・例年30人程度の参加が見込めるが、上映タイトルによって、参加者数にバラつきがある。 ・自宅でDVDやインターネット配信で映画を見られる家庭も多いためか、参加者数は横ばいである。	・映画を楽しむ時間を共有する場として、9月、3月で年2回実施予定(内容は未定)
	幼保ブックフェスティバル	依頼があった幼稚園や保育所に200冊程度の本を持参し、読み聞かせやエプロンシアターを行ったり、本の貸出しの機会を提供する。	・保育園2件から依頼を受け、絵本200冊と大型絵本やしかけ絵本を持参して実施し、各60人程の参加があった。	・2件ともにリピーターであり、満足度が高いことがうかがえる。	・同様に依頼を受け実施する。 ・新規の利用機関を開拓するため、広報を充実させる。
	わくわくブック号がやってくる	移動図書館「わくわくブック号」が学校、幼稚園、保育所などを訪問し、車内の見学や図書館の使い方を紹介し、絵本の貸出しを行う。	・保育園1件(参加約30人)、小学校4件(各日平均30人程度参加)で実施し、各施設で通常のステーションと同様の20~40分程度滞在した。	・図書館を利用していない参加者にも本を楽しむきっかけを作ることができた。 ・申込者の状況に応じて工夫が必要であるため、学校の場合は小規模校もしくは学級単位で行っている。	・同様に実施する。 ・ <u>移動図書館バスの運行として、学校をステーションとする運行を試行し、効果など検証する予定。(2学期以降)</u>
	出張展示会	様々な施設や機関と連携して資料展示会を開催する。	・中学校2校から3件の取組を紹介した。	・学校での活動を公共の場で紹介し、好評であった。 ・利用者からの好意的なリアクションもあった。	・中高図書館などと連携した移動展を予定。(2学期以降)
	大型絵本・エプロンシアター等の貸出し	学校、幼稚園、保育所、団体等に図書館で所蔵する大型絵本、エプロンシアター、パネルシアター、アニメDVD等を貸し出す。	・カウンター490点、学校支援20点の貸出しをした。	・幼保やボランティアの活動を支援できた。 ・貸出期間の見直しやエプロンシアター選び方ガイドを作成するなど、利用促進につなげた。	・ <u>大型絵本選び方ガイドの作成を開始する。</u>

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和元年度実績	令和元年度自己評価	令和2年度取組案
	貸出文庫	放課後児童クラブや児童デイサービスなどに各施設30～40冊程度を長期間貸し出す。(1か月～1年目安)	・10施設に38回、2030冊の貸出しを実施した。	・放課後児童クラブや児童デイサービスなど、それぞれの施設の状況に応じた読書環境支援に努めた。	・同様に依頼を受け、幅広い内容の本を手取る機会となるよう選書に配慮して実施する。
学校との連携による読書に触れる機会の提供	学校ブックフェスティバル	依頼があった学校に約1,000冊の児童書を広げ、多くの本から選ばれたお気に入りの本の貸出しを行う。	・小学校2件で実施した。	・選書から運搬、実施までの流れが固まりスムーズな進行ができた。 ・子どもが本に親しむ様子は教職員に好評である。	・同様に依頼を受け実施する。 ・新規の利用機関を開拓するため、広報を充実させる。
	職業体験（インターンシップ）	司書の職業体験として本の整理や貸し出しなど、最大4人まで1～2時間程度の職業体験をする機会を提供する。	・小学校1件、中学校3件、その他2件で実施した。	・カウンター業務や資料展示などを実際に体験メニューを取り入れているため、参加者だけではなく教職員からも好評を得ている。	・同様に実施する。
	こしょナビ（「調べもの応援タイム」から名称変更）	夏・冬休みなどに図書館の児童室内に特設コーナーを設け、司書が本の調べ方についてのアドバイスをする。	・夏休み中に4日間実施し、33件52名が参加した。 ・読書感想文おすすめリストを配布した。	・利用は多くないが、子どもへのレファレンス対応は教員研修としても有効である。	・新型コロナ関連で開催時期検討中。 ・読書感想文のおすすめリストを改訂する。 ・参加者を増やすため、広報を充実させる。
	調べ学習利用	学校から依頼を受け、学習の理解を深めるため、図書館での調べ学習の場を提供し、調べものアドバイスを行う。	・小学校1件、中学校1件で実施した。	小規模校やグループ利用など、利用は限定的であるが、児童・生徒の学習に広がりをもたせられた。	・利用事例をたるばとレポートなどでPRし、利用を促進する。
	授業支援	学校からの依頼に応じて、百科事典の使い方、調べ学習、ブックトーク、様々なテーマの本の紹介等を行う。	・小学校3件で実施した。 ・図書館利用のオリエンテーションを行い、分類、調べ学習の仕方等を紹介した。	・児童の図書館利用を促進した。 ・担当司書や学校司書のスキルアップの機会ともなった。	・利用事例をたるばとレポートなどでPRし、利用を促進する。

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和元年度実績	令和元年度自己評価	令和2年度取組案
	講師派遣	高文連や学校図書館関係研修に講師を派遣する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校2件で実施 ・ ボランティアやPTA向けに読書活動に関する講演を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書活動への関心を高め、図書館利用のPRを図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同様に実施する。
	施設見学・利用案内	学校/幼稚園/保育所等の依頼を受け、図書館の見学、使い方の案内、読み聞かせ等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校14件、中学校2件で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の声を反映し、新たに質問例の事前配布やPP資料を用いた案内に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用体験の実施を促し、新規開拓を図る。 *1学期は受け入れ中止。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	その他	子どもの読書関連の案内等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月に小学新入学生(約630人) 充てにPRのお便り(申込書+おすすめ本のリスト)を配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者カード増に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナ関連で配布時期検討中。

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和元年度実績	令和元年度自己評価	令和2年度取組案
2 子どもの読書活動に関する普及啓発					
啓発事業	春の子ども読書週間	子ども読書週間（4/23～5/12）の行事として、おはなし会、展示、ゲーム、人形劇等を行う。	・4/23～5/12こぐれけいすけ 新作発表（小樽在住絵本作家）、人形劇の会、北陵中POP 展示他を行った。	・多くの人に関わり、今後の広がり期待が持てる内容となった。	・こぐれけいすけ手作り絵本読み聞かせ動画公開。 ・お楽しみ袋/年齢別おすすめ本リスト発行/資料展示（期間中は、臨時休館が続いたため、時期をずらして実施予定）
	としょかん発おたる子ども読書の日	おたる子ども読書の日として、図書館で楽しめる子ども向けのイベントを行う。	・11/2こぐれけいすけ（小樽在住絵本作家）スペシャルワークショップ ・11/3たるばとブックフェスティバル（市長による読み聞かせ、おはなし会、絵本1,000冊の展示等） ・11/4策定記念講演会、資料展示	・多くの人に関わり、今後の広がり期待が持てる内容となった。	・たるばとブックフェスティバルを10/24開催予定。 びっくりおはなし会/こぐれけいすけ新作発表/人形劇の会/資料展示など
	学校における読書活動の紹介	市立図書館において、小中学校の学校図書館だよりの展示や読書の取り組みを紹介する。	・北陵中POP/西陵中読書ゆうびん/学校司書活動紹介展示。	・児童・生徒や学校図書館の活動の周知に繋がった。	・事例をPRし、新規開拓につなげる。 ・児童室内に中・高図書局員による展示スペースを新設する。 ・今後は年間スケジュールを組んで行えるよう整える。
	「きっずおたる」の発行	毎月、月初めに子ども向けの事業、行事、おすすめ本等について、紙媒体とホームページ上でお知らせを発行する。	・毎月発行した。	・親しみやすい内容をくふうしており、4コマ漫画が好評を得ている。	・内容の更なる充実を図る。 ・幼保関係職員を意識した内容の記事も取り入れる。
	幼保向け「子ども読書だよりの発行	幼稚園や保育所で配布できるよう、お知らせを配布する。	・今年度の発行はないが、近隣の幼稚園に行事のチラシを配布した。	・内容が「きっずおたる」と重なり、作成が難しい。	・内容が「きっずおたる」と重複するため、「きっずおたる」に統合する。

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和元年度実績	令和元年度自己評価	令和2年度取組案
情報の発信	学校図書館担当者向け「たるばとレポート」の発行	学校図書館との連携事業やおすすめ本の紹介など学校の読書活動を進めるための様々な情報を紹介する。	・不定期で5回発行した。	・管内の読書活動推進フォーラムや道内の読書活動団体の冊子など、多媒体で取り上げられ、認知度がアップした。	・同様に発行する。 ・今年度はより多くの人に原稿を依頼するなど内容の充実を図る。
	ホームページ・フェイスブックによる情報提供	ホームページに子ども読書に関わる大人と子ども向けコンテンツを作成し、子ども読書に係る事業などの情報を提供する。	・ホームページ：イベントやスケジュールについて随時案内した。 ・フェイスブック：約40回の投稿/2件の動画/イベントの告知。	・イベントの様子動画の公開など新しいことに挑戦した。	・同様に実施する。 ・ホームページ上で、 <u>国語の教科書掲載図書所蔵リスト（小学校）を公開予定。</u> ・ <u>国語の教科書掲載図書所蔵リスト（中学校）の作成を開始する。</u>

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和元年度実績	令和元年度自己評価	令和2年度取組案
3 子どもの読書環境の整備・充実					
市立小樽図書館の環境整備・充実	児童書の充実	より読書に親しむための絵本、読み物、図鑑などの充実をはかる。	・随時の選書の際、書架が多彩で充実した内容となるよう配慮した。	・日ごろの利用状況を考慮し、ニーズに沿った本を選ぶことができた。	・引き続き、収集基準に基づき、利用者のニーズに沿った選書に努める。
	資料展示会	様々なテーマで新刊展示、ミニ展示など、さらに読書を楽しむよう展示を行う。	・不定期で19件実施した。 ・作者別、他のイベント関連など多様となるテーマを設定した。	・季節や行事に合わせ、他機関との連携など含め、多種多様な展示を展開できた。	・様々なテーマで引き続き実施する。
	児童コーナーの整備	親しみやすい児童室とするため、季節に応じた飾り付けや書架づくりを行う。	・「バリアフリー絵本コーナー」、「ゲームえほんコーナー」などの別置を設けた。	・別置は、貸出促進に繋がったが、OPAC表示と違いがあるなど課題が残った。	・紙芝居コーナーの整備／書庫（絵本）の整備／館内表示の工夫など環境整備を進める。
	デジタルライブラリの充実	小樽の歴史に関する写真や地図などをデジタル化し、WEB上で公開することで、学校における地域学習の支援を行う。	・システム変更に伴い準備を進めた。	・デジタル化すべき資料の選定を続けた。	・児童向けパスファインダーの作成を開始し、デジタルライブラリの利用方法について触れるなど活用の促進を図る。（利用開始後）
連携による学校図書館の環境整備・充実	スクールライブラリー便による貸出し	学校における読書や調べ学習、授業で使う本の貸出しをする。活用期間により短期便、長期便、リクエスト便を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・短期便（3か月程度） 21校59回3540冊 * 学校図書館の活性化が目的。 ・長期便（半年から1年程度） 7校7回2400冊 * 学級文庫での活用のため ・リクエスト便（1か月まで） 18校122回2244冊 * 調べ学習や並行読書等、希望の内容に応じて選書。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員を対象にアンケートを実施したところ好意的意見が多かったが、今後の状況を鑑みると、内容の検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の活動を啓発する取組と捉え、意欲のある学校に対しての支援に重点をおく。

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和元年度実績	令和元年度自己評価	令和2年度取組案
	学校図書館運営相談	学校図書館に不要な図書の選定や蔵書整備方法を説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3件、中学校2件で実施。 ・学校の引っ越しや統廃合に関すること、学校司書業務の相談、寄贈本の受け入れ等について説明した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校からの相談について、市立小樽図書館及び他の学校図書館等のネットワークを駆使し、迅速に対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同様に実施する。
	学校図書館クリニック	教員やボランティアと協力しながら、古い本の整理や図書館のレイアウトの変更など学校図書館の改善を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・申込はあったが、小規模なクリニックだったため、学校図書館クリニックではなく、運営相談として実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営相談としての実施であったが、学校図書館の環境整備に貢献した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書が新たに関わる学校での実施を予定。

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和元年度実績	令和元年度自己評価	令和2年度取組案
4 子どもの読書を推進するための体制の充実					
子ども読書を支える 職員の育成	学校司書支援	学校司書の研究や活動を支援する。また、学校図書・図書館連携会議において、様々な情報提供や読書活動のアドバイスを行う。	・6名63件実施した。 ・読書相談や資料運搬、各種研修機会の提供や情報提供などを行った。	・学校司書それぞれの状況に応じた支援を行い、学校司書のスキルアップにも貢献した。	・引き続き、学校司書の目的や状況に応じた支援を図る。
	教職員研修	読書活動に関する教職員向けの研修を行う。	・2回計22名に実施した。 ・5月小樽市学校図書館研修 8月初任研修	・教職員の読書活動への意識や取り組み状況に差がある中、研修により望ましい読書活動について、意見交換ができた。 ・研修後の支援メニュー利用に繋がった。	・同様に実施する。
	子ども読書担当職員の研修会参加	北海道学校図書館や後志図書館協議会の講座等、各種研修会に参加し、子ども読書担当職員のスキルアップを図る。	・2回参加した。 ・12月後志図書館協議会 ・1月学校図書館大会	・他館の取組や改善点に触れ、担当職員のスキルアップに繋がった。	・同様に実施する。
ボランティア関係団体・機関等との連携	関係機関・団体などとの連携や 情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や団体と連携し、読書活動の推進を図る。 ・読み聞かせボランティア交流会や各種研修会に講師を派遣し、育成の支援を図るほか、様々な情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽子ども劇場人形劇サークル「ぐうちよきばあ」との連携事業を12回実施した。 *「ぐうちよきばあ」のおはなし会・人形劇の会を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数は減少傾向であるが、参加者には毎回好評を得ている。 ・学校司書の研修の場として活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き開催予定。 ・参加者を増やすため、広報の充実と協力体制強化を図る。
			<ul style="list-style-type: none"> ・「札幌おはなしの会」*との連携事業を2回した。 *お話（昔ばなし）の読み語りボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーターが多く、毎回好評を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き開催予定。
			<ul style="list-style-type: none"> ・「小樽子どもと本をつなぐ会」*と連携し、月例会8回／連携事業1回／「パネルシアター選び方ガイド」発行をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルシアターのガイドの作成やイベントへの協力など、日頃の連携を形にすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>大型絵本選び方ガイド（仮）</u>」作成を開始する。

たるばとプロジェクト	事業名	内容	令和元年度実績	令和元年度自己評価	令和2年度取組案
			<ul style="list-style-type: none"> ・「小樽 子どもの読書活動紹介 たる読まっぶ」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと本が出会える場所や活動を紹介した。 ・作成のための情報収集で、より多くの団体とつながることができ、今後の連携に期待が持てた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「たる読まっぶ」改訂版（豊倉小閉校など）発行を予定している。